

地盤条件	砂質地盤 N値10程度
車両重量	1.17t
車両速度	40km/h
基 礎	600×600×500 コンクリート基礎 強度 Fc21以上



※左記性能は保証値ではありません。
停止性能は車両衝突実験による実験値です。

車止め 交差点タイプ KDK-8、BSK-8シリーズ 取扱説明書

KDK-8K・KDK-8E・BSK-8K

※施工者の方へ / この取扱説明書は施工終了後、ユーザー様にお渡しください。

※管理者様へ / この取扱説明書は、メンテナンス時にも必要です。大切に保管してください。

■安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。



警 告

誤った取り扱いをすると、人が死亡
または重傷を負う可能性が想定され
る内容を示します。



注 意

誤った取り扱いをすると、人が傷害
を負ったり、物的損害が想定される
内容を示します。



- ・施工の際は、製品に添付されておりますこの取扱説明書に従っておこなってください。
- ・ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。

設計者の方へ

1 一般的なご注意



警 告

- 弊社の車止めは強度について十分な配慮の上、設計・製造されておりますが、原則として平地での使用を目的とした製品です。この目的以外でのご使用は思わぬ事故につながる場合があります。
- 芯材(鋼材)を使用しているため、車両等で踏み倒すことはできませんので、緊急車両などの車両通行の必要な箇所への設置は適しません。
- 軟弱地盤による地盤の沈下については、十分考慮してください。
- 使用環境により品質劣化が進みやすくなりますので十分ご注意ください。
- 腐食性ガスや海水、あるいは砂塵にさらされるような環境では短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。

施工者の方へ

2 施工上のご注意



警 告

基礎施工上の注意

- 仕上げにモルタルを使用する際は、海砂は塩分が多量に含まれており腐食の原因になりますので、使用は避けてください。
- 車止め地際に水溜まりができると錆が発生しやすくなり、破損などによる思わぬ事故につながる場合があります。車止め地際のモルタルを盛り上げるか、勾配をつけて水はけを良くしてください。
- インターロッキングなどを使用される場合は必ずアンカーボルトをコンクリートで十分被覆してください。

車止め施工上の注意

- 本体は一度設置すると壊さない限り外れません。設置場所を間違えないように十分注意をしてください。
また、パッキンの貼り忘れ等にも注意し、正しい施工順序で設置してください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品の表面を流れないように注意してください。シミやムラなどの外観不良や腐食の原因になります。
- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食の原因になりますので、取扱いには十分注意してください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか接触する部分を完全に養生してください。

ユーザー様へ

3 お手入れ



注 意

- 安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃、点検を行ってください。
- 点検・清掃時には、車止め本体、反射体に損傷などが無いかを確認してください。異常がありましたら、購入店にご相談ください。

1 部材の確認

固定式：KDK-8K(グレー・ブラウン・イエロー)

部材名称	材料寸法	数量
DK-8C本体	φ130×875	1
KDK-8シチュウ-ZM	φ114.3×1174	1
GPキャップ114ZMセットF		1
パッキン		1
取扱説明書		1

土柱式：KDK-8E(グレー・ブラウン・イエロー)

部材名称	材料寸法	数量
DK-8C本体	φ130×875	1
KDK-8シチュウ-ZM	φ114.3×2274	1
GPキャップ114ZMセットF		1
パッキン		1
取扱説明書		1

固定式：BSK-8K(グレー・ブラウン・イエロー)

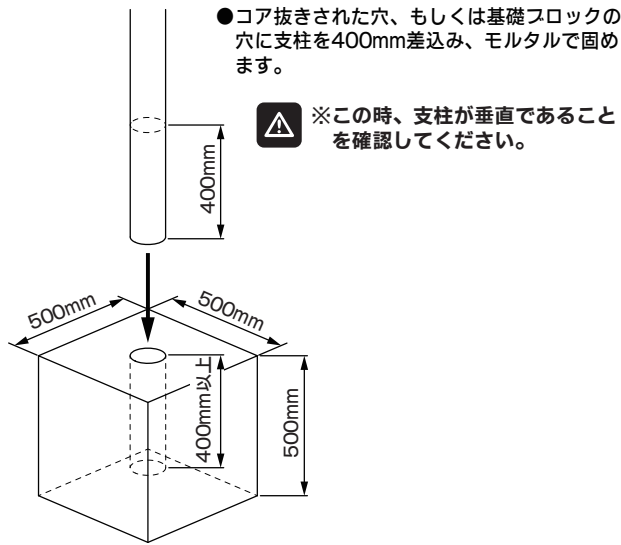
部材名称	材料寸法	数量
DK-8C本体	φ130×875	1
KDK-8シチュウ-ZM	φ114.3×1174	1
BSK-ホキョウシンザイ		1
GPキャップ114ZMセットF		1
パッキン		1
取扱説明書		1

準備していただく機械・工具など	使用用途
ハンマー	キャップの取り付け
カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保

2 支柱の建て込み

- ※適切な施工が行われないと不良の原因となりますのでご注意ください。
コア抜きした穴及び基礎ブロック穴の底部にモルタルなどを充填しないでください。
支柱底部に水が溜まり、支柱の腐食による支柱の変形、折れなどの原因となります。

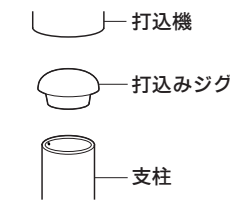
固定式支柱の建て込み(KDK-8K)



- コア抜きされた穴、もしくは基礎ブロックの穴に支柱を400mm差込み、モルタルで固めます。

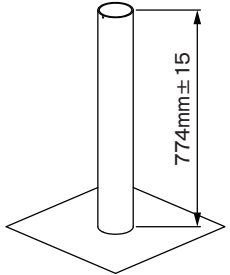
- ※この時、支柱が垂直であることを確認してください。

土中式支柱の建て込み (KDK-8E)

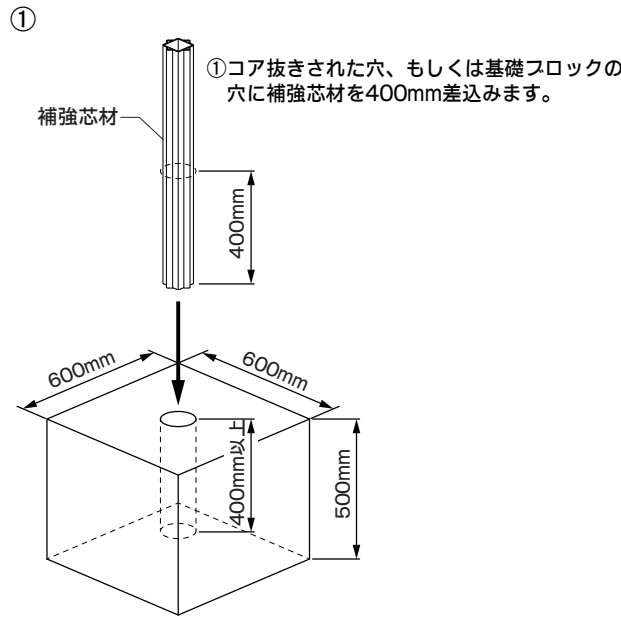


- 打込みジグ(別売品)を支柱にはめて、打込機にて土中に打込んでいきます。

- ※支柱の高さを確認してください。
G.L上高さ774mm±15まで対応可能です。
範囲外のものについては、支柱が完全にカバーできない場合や、抜け止め効果がなくなる場合がありますので、ご注意ください。

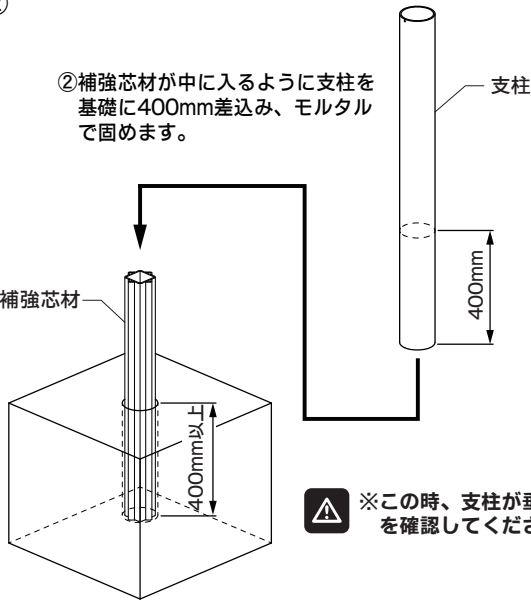


固定式支柱の建て込み(BSK-8K)



- ① コア抜きされた穴、もしくは基礎ブロックの穴に補強芯材を400mm差込みます。

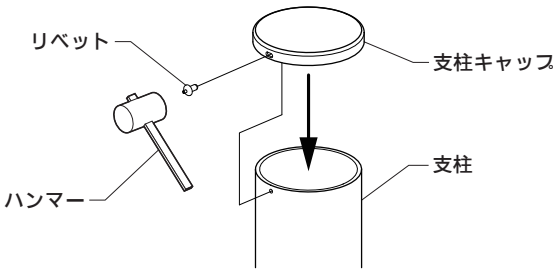
- ② 補強芯材が中に入るように支柱を基礎に400mm差込み、モルタルで固めます。



- ※この時、支柱が垂直であることを確認してください。

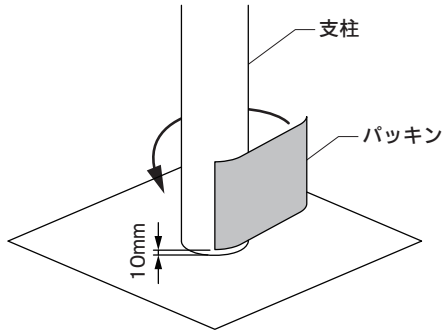
3 支柱キャップの取り付け

- 支柱に支柱キャップを取り付けてください。



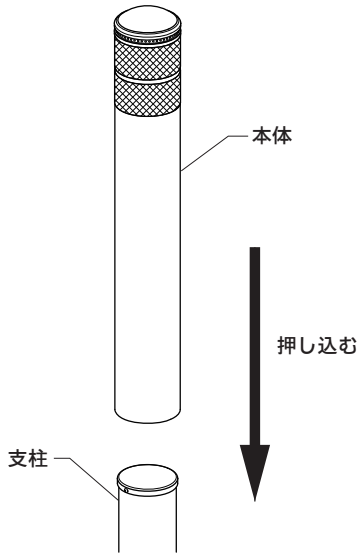
4 支柱へのパッキンの貼り付け

- パッキンは、ガタツキ防止のため、必ず貼り付けてください。
貼り付け前には、支柱の水分や泥などの汚れを拭いた上で、地面より10mm程度あけて貼り付けてください。



5 本体を支柱に挿入

- 本体を支柱に挿入し、固定金具が支柱キャップを超える時に鳴る音を確認し、地面まで押し込んでください。



- ※本体の筒内部に固定金具を取り付けており、手などを筒内部に入れた場合怪我をするおそれがあります。
※本体を支柱に挿入する時、支柱と製品との隙間で手や足などを挟む恐れがあります。

6 施工完了

- 製品にガタツキがないことを確認してください。

